

臨床研究

「ヒト心筋組織における RNA 解析、免疫染色を用いた分子発現・局在の検討」 について

筑波大学附属病院循環器内科では、標題の臨床研究を実施しております。
本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

我が国における死因の第2位は心疾患であり、心疾患の病状として息切れやむくみが出てきた状態を心不全といいます。心不全の患者さんは高齢化社会を背景に増加し続けており、近年のこの状況を「心不全パンデミック」と呼びます。一方で心不全に対する治療は古典的な治療薬から発展しておらず、新しい効果的な治療法を見つけることが急務といえます。革新的な治療を開発するためには、心臓の組織の中の分子の流れを明らかにする必要がありますが、小動物を利用した実験はなされているものの、ヒトに上手く結びついていないのが現状です。

本研究では、過去に心臓手術が行われた、または心不全で亡くなり剖検にご協力いただいた患者さんを対象として、採取した心臓組織の一部を研究に使わせていただきます。タンパク質の設計図である RNA という物質の量を確認したり、免疫染色という組織の中の分子の位置を可視化することができる方法を用いて、様々な分子の位置を確認することで、心不全の原因究明に繋げることを目的にしています。心不全のない剖検患者さんの心臓も一部いただき、心不全の患者さんと比較することで、より深く理解しようと考えています。

② 研究対象者

2010年4月1日以降に当院、広島大学病院、横浜労災病院いずれかで亡くなり剖検を受けた方や心臓の手術を受けた方、心臓の生検検査を受けた方が対象となります。

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2024年3月31日まで

④ 研究の方法

当院病理部に保管されている対象の患者さんの心筋検体の一部を利用して、RNA解析、免疫染色を行います。診療情報や病理解剖の結果から、心不全の有無による分子の位置の差や発現量の差を検討し、分子の機能を明らかにしていきます。

⑤ 試料・情報の項目（具体的に記載すること）

検査データ（血液検査、心電図、心臓超音波など）、診療記録
心筋の病理検体（手術や剖検の時に採取されたもの）

⑥ 試料・情報の管理について責任を有する者

筑波大学 医学医療系 臨床医学域 循環器内科 准教授 許東洙
広島大学病院 循環器内科 教授 中野由紀子

横浜労災病院 循環器内科 部長 小和瀬 晋弥

⑦ 本研究への参加を希望されない場合

ご本人、ご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑧ 利益相反について

本研究の分担者の中には利益相反のある者がいますが、データ解析、編集に関しては一切関与しません。利益相反の管理については、当院の利益相反委員会および臨床研究倫理審査委員会へ申告し審査を受けています。

⑨ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：循環器内科 担当 村越伸行

電話：029-853-3143 平日9～17時